

総合計画上の位置付け

施策の大綱	産業の振興	施策の目的	雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する	施策	地場産業
-------	-------	-------	---------------------------	----	------

主要事業と関連部署

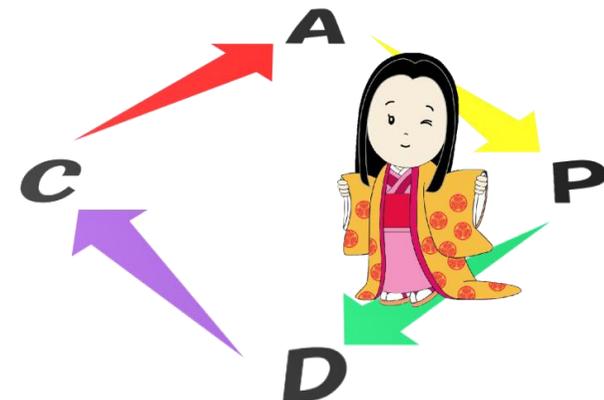
施策の方向	事業名	部署名
地場産品の販売促進	いしげ結城紬の伝承と普及	商工観光課
交流施設との連携	圏央道沿線地域産業交流活性化協議会への参画	商工観光課

目標

指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
伝統産業の振興に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査において参考値を上回る数字を目指す。	6.7% (参考値)	10.0%

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見
いしげ結城紬を市の地場産品として認識している市民は少ないのではないか。補助金交付で終わらせるのではなく、情報発信や別事業との連携など、市としてPRの仕方を検討する必要があるのではないか。
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 目標の達成状況 ♡♡♡ </div>



事業の説明

事業名	いしげ結城紬の伝承と普及			
担当	商工観光課			
予算科目	一般会計			
	7款	1項	2目	1事業
事業の目的	常総市の無形文化財である「いしげ結城紬」の振興、PR、販路開拓に係る経費を補助し、地場産業の伝承及び地場製品の販売促進を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	産業の振興
施策の目標	雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
施策	地場産業
施策の方向	地場製品の販売促進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	360千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		14人
実施内容と改善点		
茨城県結城郡織物協同組合に補助金を交付し、販路開拓、人材育成等を推進する。		

令和2年度	決算額	400千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		14人
当初の成果目標		1人
実施内容と改善点		
茨城県結城郡織物協同組合に補助金を交付し、販路開拓、人材育成等を推進した。		

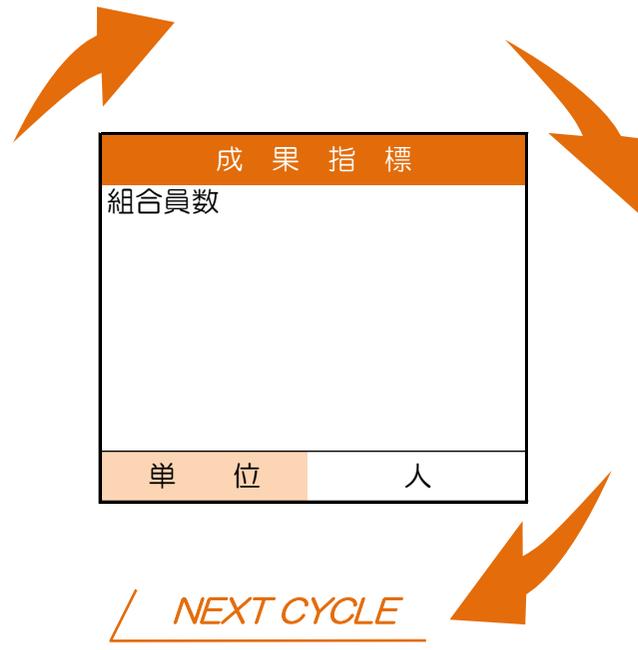
令和元年度	決算額	400千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		15人
当初の成果目標		1人

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	事業者の高齢化、後継者不足といった問題を抱えながら積極的に研修等に参加していた。理事長宅訪問の際に工場見学可能とのことだったため物産協会HPに織物の写真掲載と共にその旨を記載した。
分析	国や県の支援制度について、引き続き調査が必要と考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		人
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
人		人

事業の説明

事業名	圏央道沿線地域産業交流活性化協議会への参画			
担当	商工観光課			
予算科目	一般会計			
	7款	1項	2目	1事業
事業の目的	企業立地の促進による産業集積の形成、交流促進方策の推進並びに地域経済の牽引事業の促進により、地域経済の活性化を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	産業の振興
施策の目標	雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
施策	地場産業
施策の方向	交流施設との連携

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	150千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		6回
実施内容と改善点		
協議会に負担金を支出する。協議会では、企業立地セミナーの開催、圏央道沿線地域におけるPR動画の作成、圏央道沿線地域における地域資源パンフレット等の作成・PR、ホームページやFacebookによる情報発信、地域資源を活用した交流促進方策検討、地域経済牽引事業の促進を計画している。		

令和2年度	決算額	150千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		4回
当初の成果目標		7回
実施内容と改善点		
協議会に負担金を支出した。協議会では、圏央道沿線地域の情報発信（「週刊東洋経済」「東洋経済オンライン」への広告）、立地企業フォローアップ、牽引事業計画の承認、県地域振興課Facebookによる情報発信を行った。		

令和元年度	決算額	150千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		6回
当初の成果目標		6回

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	積極的な情報発信を行っているものの、コロナウイルス感染症の影響により、全部の事業計画は進められなかった。
分析	当市の道の駅からの情報発信を視野に入れた、この事業以外の新たな取組みが必要である。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	0千円
成果目標		回
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
回		回